

KYOSHO SPECIAL INTERVIEW

レーシングドライバー 道上龍選手を夢中にさせる R/Cカーの世界!

text: Takashi Koga/Jun e Co. photographs: Tamon Matsuzono

現役レーシングドライバーにして自他共に認めるR/Cカー“フリーク”でもある道上龍選手。意外にも、キッカケは自分がレースで乗るマシンが売られていると知った6年ほど前から。

「まさか、こんなにのめり込むとは思っていませんでした。最初は“実車を忠実に再現したR/Cカー”くらいの認識でしたね。たしかにスポンサーのステッカー位置はまったく一緒でしたし、もちろん私の名前もちゃんと貼られていました」

当初はちょっと広いアスファルトの駐車場を走らせていたが、やがてR/Cカー専用のサーキットへと足を運んだ。それもそのはず。実車の1/8スケールがもたらす最高速度100km/hオーバーのスピード感は、ハンパではない。1回でも実際にR/Cカーに触れてみると、R/Cカーへのイメージはガラリと変わるはずだ、と道上選手は言う。持て余すほどのポテンシャルを、限界域まで試せるサーキットで走らしてみたいくなるのは、なにもレーシングドライバーでなくとも抱く思いだろう。

「ノーマルの状態でサーキットを走らせてみたら、ほかの人より遅くて、マシンのセッティングもやり直す必要性を感じてしまったんです。ほかの人に負けるのは嫌なものです(笑)」

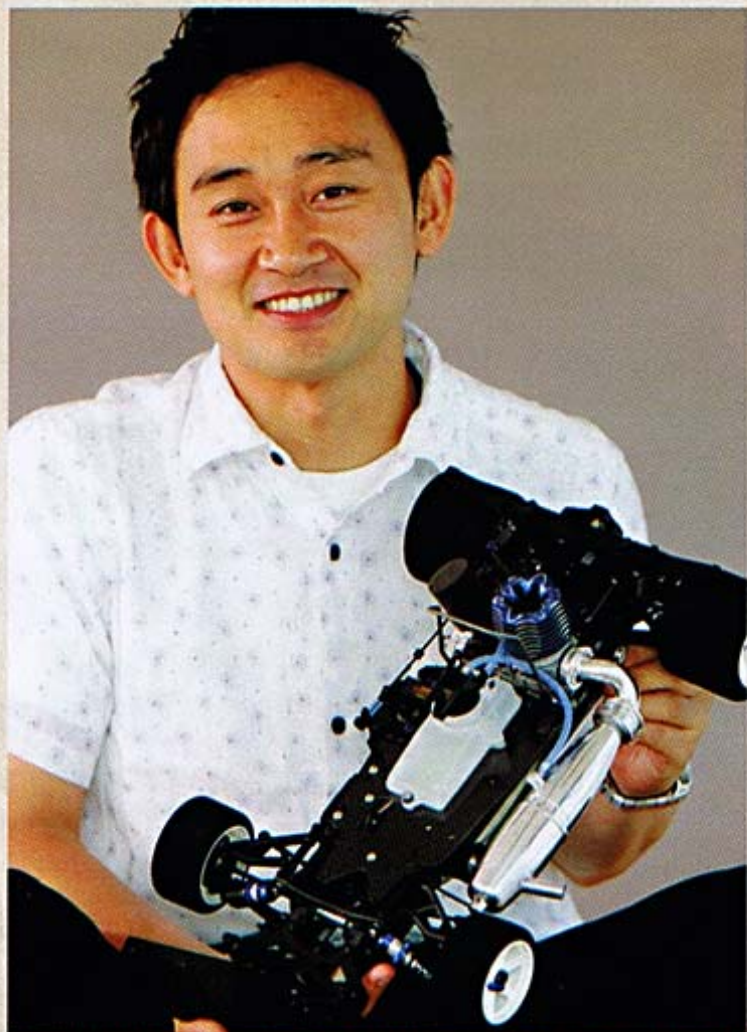
勝負師、というレーシングドライバ

ーの性分が疼いてしまったのだろうか。これを境に、道上選手はR/Cカーにどっぷり浸かることになった。マシンを組み立て、走るサーキットに最適なようにセッティングを施し、レースに勝つための戦略を練り、実際に参戦する。チューニングは足回り、ボディ剛性、タイヤと実車さながら多岐にわたる。レースごとにエンジンのオーバーホールも欠かせない。現在ではオンもオフもレース三昧という始末だ。

「こんなこと言ったら笑われるかもしれませんが、本業のレースもR/Cカーレースも緊張する度合いは同じなんです。スタート前はドキドキしますよ。やはりどのレースでも勝ちたいという気持ち強いからでしょう」

レース結果の良かったマシンのセッティングは、逐一ノートにメモを残す。普段はチームの一員としての役割を求められるが、R/Cカーでは一人で何役もこなす。一見大変そうだが、道上選手にとっては心休まるホビー。と同時にR/Cカーをいじっている時も走らせている時も、集中力や精神力を養うトレーニングの場にもなる。

「レースでの駆け引きは、実車と変わりません。テール・トゥ・ノーズでプレッシャーを与えて相手のミスを狙うんです。R/Cカーは実車に比べて挙動がシビアで、しかもマシンの挙動を体



R/Cカーの最高峰に位置するエンジン搭載の1/8スケールレーシングカーは、四輪駆動で2速ATを備え、最高速度100km/hオーバーを誇る。毎分4万回転近くまで回る大迫力のエンジン音が快感だと語る道上選手は、その1/8クラスのレースで過去2回の優勝経験を持つかなりの実力者だ。

感するのではなく操縦台から見ることで感じなければいけません。これが実車との最大の違いで、慣れていない私には大変な部分かもしれません」

レーシングドライバーとして全国のサーキットを歩き回る道上選手。近隣にR/Cカー用のサーキットがある場合、早めに現地入りしR/Cカーを気ままに走らせる。そんなR/Cカーフリークの彼が最近重宝しているのは、ミニッツ。「レース中に宿泊しているホテルの廊下や室内でこっそり走らせています。ボディが小さい分、挙動はよりナイスで練習にはうってつけ。いつもR/Cカーに触れていないと、プロポの操作感覚がどうしても鈍りますから」

複数台持って行けば即席の現役レーシングドライバー同士のミニッツレースを開催できるが、最近控えている。「皆、ガンガンぶつけてキズだらけになるので、静かに一人でやるのが多くなったかもしれません(笑)」

ミニッツは実車を忠実に再現したも

のなので、オブジェとして飾ることもできる。また手のひらサイズということもあって、道上邸では玄関にある棚に鎮座しているという。オブジェとして始めるもよし、小型モーターR/Cカーとして始めるもよし。どのくらいハマるかは、あなた次第だ。

本業のレースも
R/Cカーレースも
緊張の度合いは同じ!



Ryo Michigami

1973年奈良県生まれ。スーパーGT選手権、全日本選手権フォーミュラ・ニッポンなど、最前線で活躍するレーシングドライバー。取材当日は惜しくもリタイアしてしまったルマン24時間から帰国した当日だった。



道上選手はミニッツを練習用として愛用しているほか、自宅玄関にオブジェとしても飾る。